

編集後記

より多くの方々にご覧いただくために、化学生物総合管理学会の学会誌「化学生物総合管理」第14巻第1号と、社会技術革新学会の学会誌「技術革新と社会変革—現場基点—」第10巻第1号を合わせてお届けします。本号には2件の報文が掲載される運びとなりました。査読者の皆様をはじめ、著者、編集委員の皆様には多大なるご協力を賜り、感謝申し上げます。

巻頭言は竹内誠氏に執筆いただきました。執筆をご快諾くださった竹内氏に深く御礼申し上げます。新たな技術を普及させるためには、新開発が生まれる活発な礎を養成する必要があるという意見には強く同意するとともに、将来一分野の研究を担い得る者としてその重要性を再認識致しました。

前巻に引き続き、化学生物総合管理学会と社会技術革新学会の合同発刊となり、異なる2つの分野の報文が掲載されました。己の専門分野以外の知識を得る機会というものは、現代の教育機関において限られたものとなっております。そのような中で、こうして専門性が高い報文を外野の人々に向けて発信いただけるということは、大変貴重であり今後も大切にしていきたい機会であると思いました。

本学会誌の発行にあたり、ご尽力くださった皆様に重ねて感謝を申し上げます。

今後とも学会誌並びに学会の活動がより実りあるものとなりますよう、取り組んでまいりますので、引き続き皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

編集委員会事務局 学会誌担当
家政 茜